

『新友会政策モニター研修会』開催

令和3年(2021年) 12月4日土
長野ホテル犀北館にて

新友会では、政策立案・調査・審議等の活動をより活発にするにあたり、恒常に市民の意見を聴くための制度として政策モニター制度を設けております。新型コロナウイルス感染症の影響により、しばらく開催を見送っていましたが、今回、政策モニター114名中、58名の皆様にお集まりいただき、開催が実現しました。コロナ対応のため、今回はスクール形式による講演会のみとなりましたが、長野市保健所長 小林良清氏を講師にお迎えし、講演をいただきました。冒頭、小林保健所長からは、この2年間、東日本台風19号災害から、新型コロナウイルス感染症の拡大にいたるまで、長期にわたり困難な状況が続き、長野市民のみなさまにご不便をおかけしていることについての話があり、自ら撮影した臨場感ある現場の写真をおりままで、詳細なデータを駆使してわかりやすく、丁寧にお話しいただきました。

新友会が当日の状況をまとめましたので、ご覧ください。

講演会

演題／長野市における新型コロナウイルス感染症の発生状況と保健所の対応



講師：長野市保健所長
こばやし よしきよ
小林 良清 氏

【講師略歴】
社会医学系指導医・専門医
日本医師会認定産業医
信州公衆衛生学部副理事長・同雑誌編集委員長
東京大学理学部卒業
北海道大学医学部卒業
佐久・長野・北信保健福祉事務所長など
2019年より現職

質疑応答

Q1: 長野市では感染後の後遺症で苦しんでいる人はいるか？どんな後遺症があるのか？

⇒ 感染された方には療養が終わった後も何かあったらいつでも相談するようにとお伝えしているが、これまでのところ相談はほとんどない。症状は、様々あると言われているが、他の病気による場合もあるので、不安な場合には医療機関を受診していただきたい。

Q2: 3回目の接種券には接種会場を明記しているか？

⇒ 前回同様、接種する方の希望で場所と日時を決めて、予約していただく。

Q3: 良い生活で大変苦しいが、先生のお墨付きがほしい、今後どこまで生活を緩めたらよいか？

⇒ 現在はコロナの予防に大きな関心が寄せられているが、人間が健康に生活するためにはフレイル予防も含めコロナ以外のいろいろなことも忘れてはならない。これまでと同様、基本的な感染対策を取りつつ、人の交流や社会経済活動も進めていくといいのではないか。

Q4: 新友会のみなさんへお願いです。今回の所長の講演は大変良かった、エイズや、ハンセン病などの時もそうだったが、感染者に配慮した情報開示に納得するよう正しく理解を広めてほしい。

⇒ (新友会から)新友会でも引き続きこの問題に注力し、市民にわかりやすく、正しい情報を発信していく。



▲ 講演会の様子

参加者の感想・ご意見

- 新型コロナウイルスに対する保健所の対応を画像やグラフを用いてとても分かりやすく説明していただけて良かった。また、保健所長の感染拡大収束の思いと感染者に対する思いもありとても複雑な心境の中、務められている事にとても感心した。今後も市のため頑張っていただきたい。
- ニュースなどの報道ではわからなかったことを話して頂き、対応の方法・注意すべきことが理解できて大変良かった。広く市民に広報してほしい。
- 今後も感染対策をしっかりと日々の生活を送ろうと気持ちを新たにした。早くコロナ終息を願っている。また、例えば感染した人への思いやりやフォローも大切であることが良くわかった。
- 医療従事者の皆様に感謝する。私たちも緩みがちであるが、皆様にまた大変な労力をさせてしまわないよう気を引き締めたい。



▲ 質疑応答にて丁寧に説明する小林講師

加藤市長退任にあたって



▲ R3.11.10退任あいさつ(全員協議会)

加藤市長は、去る11月10日に2期8年の市政運営を終えて退任されました。市政に対する長年のご尽力に感謝申し上げます。

この8年間の加藤市政を振り返りますと、市の職員の意識改革をはじめ、子育てに関する事業を総合的に行う「こども未来部」や文化・芸術やスポーツ分野の振興を図る「文化スポーツ振興部」の新設、人口減少対策としてUJITアーンの促進、長野版ネウボラの拡充やこども相談室の設置等々、特色のある市政運営を積極的にされてきました。ただ、2期目の後半には令和元年東日本台風による歴史的な災害とそれに続く新型コロナ感染症の蔓延が発生したため、復興事業や感染症対策事業に注力せねばならず、独自の加藤市政を前面に出すことは困難であったかと思われます。

新友会としては、市長選挙においては加藤市長を支持致しました。ただ、議会においては、是々非の立場で、各政策を議論して参りました。この度、市長を退任されましたが、その経験を活かして引き続き長野市政に対し大所高所からご指導を賜りたいと存じます。

< 全員協議会では発言者が限られるため、マスクをはずして発言しています。>

新友会は、市民の皆さまのご意見をお待ちしております。ご遠慮なく下記にご連絡ください。

〔発行所〕 長野市議会 新友会 〒380-8512 長野市大字賀緑町1613番地 長野市役所第一庁舎7F
〔発行責任者〕 小泉 栄正 TEL.026-226-4911 (内線3931) FAX.026-229-6386 E-mail:shinyu@mx1.avis.ne.jp

ホームページ: http://shinyukai-nagano.com/

検索

新友会

長野市議会 新友会だより

新春号
2022年1月
発刊

ごあいさつ

市民の皆様方には、日頃より新友会に対し格別のご支援を賜りますこと心より御礼申し上げます。新友会所属議員一同は、新年を迎え、長野市ならびに地域のさらなる発展のために活動する決意を新たに致したところでございます。

昨年11月に、加藤前市長から市政を引き継いだ荻原新市長は、前市長の市政運営をアップデートし、市民が安心して暮らせる長野市を目指すとされており、我々新友会も、新市長とともに直面する市政の課題に取り組んでまいります。

本市は、令和元年東日本台風災害からの復興は途上であり、施設整備とともにこれから地域コミュニティの復興がより重要になってまいります。

また、新型コロナウイルス感染症は収束のめどが立たない中で、感染拡大防止対策を充分に図りながら地域経済の復興が課題です。

加えて、人口減少・少子高齢化が進む中、社会保障関係経費の増加、公共施設老朽化対策経費など厳しい状況におかれています。

そのような中、今年は1年延期されました善光寺御開帳が開催されます。門前町の大縁日を契機ににぎわいを創出し、新産業創出、高齢者の社会参加の促進、健康寿命の延伸を図りつつ、長野市の経済が活性化することを願うものです。

新友会は、市内各地域の政策モニターの皆さんはじめ多くの市民のご意見・ご要望をまとめ、市長に要望するとともに、所属議員一丸となって市政に反映できるよう全力で取り組んでまいります。

今年も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新友会 会長
小泉 栄正

ごあいさつ

皆様方には、平素新友会の活動に対しまして、ご指導ご支援を賜り誠にありがとうございます。

私たち新友会一同は、新しい年を迎えるにあたり、「守る」「育てる」「輝く」の3つを政策の柱とする荻原新市長と信頼関係を構築し、加藤前市長が8年間築いて来られた現市政を基本にしつかり議論を進め、台風被害や地滑り災害からの復旧・復興支援、併せて新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策と社会経済の直面する課題に取り組んでまいります。

現在の長野市は様々な課題を抱えており、とりわけ速度が加速している「少子高齢化による人口減少」対策として公共施設の多機能化・複合化、「災害時の安全・安心」対策を含めた行政全体のAI・IoT化を進める「デジタルトランスフォーメーション」の推進は喫緊の課題であり、新型コロナウイルス感染症による「新たな生活様式」が求められています。

こうした状況の中で本市の未来を創るために、従来から一步進んだ新しい発想で議会や行政に臨むとともに、長野広域連合議会・連携中枢都市構構想での周辺自治体との連携強化を進めることが肝要と考えています。

未来に向かって進む新友会に、本年も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新友会 顧問(前会長)
小林 義直



後列左より
西脇かおる グレート無茶 青木 敏明 和田 一成
松田 光平 宮崎 治夫 市川 和彦 桜井 篤
加藤 英夫 箱山 正一
前列左より
若林 祥 寺沢さゆり 小林 義直 三井 経光
小泉 栄正 西沢 利一 手塚 秀樹 北澤 哲也
金沢 敦志

令和4年度 予算編成に対する予算要望書を提出

令和3年11月18日、小泉栄正会長をはじめ役員8人が荻原市長と面談し、長野市令和4年度予算編成に向けて、新友会として各部局別にまとめた371項目にわたる「令和4年度予算編成に対する要望書」を提出しました。

要望内容は、新型コロナウイルス感染症対策や東日本台風災害からの復興をはじめ、どれも市民生活にかかわる重要な内容で、荻原市長からは、できる限り要望に沿えるよう予算編成に取り組むとのお答えをいただきました。

中でも、荻原市長が選挙中に公約として掲げた主な8項目については、特別要望としてまとめ、次のとおり要望しました。



◎新市長公約に対する特別要望

1. 新型コロナウイルスなどの感染症に対応するため、また、各種イベント開催をはじめとする経済活動再開のための支援を強化するために、感染症対策調査チームを設置するとともに、医師会等との連携のさらなる強化を図ること。

2. 落ち込んだ市内経済を早期に回復・活性化させるための事業を緊急に実施すること。併せて、来年開催される善光寺御開帳を全力で支援するとともに、「日本一の門前町大縁日」など各種イベントの開催を起爆剤として、コロナ後の経済活性化を図ること。

- 3. 東日本台風災害からの復旧・復興を着実に進めるとともに、国・県、地域の消防団等と連携しながら、防災・減災対策の強化、防災力の向上を図ること。
- 4. 育児の悩み、発達障害、貧困、教育などで、子どもに関する相談が必要な家族のためワンストップ相談を基本とする「子育て総合支援センター」を開設すること。
- 5. 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、特に低所得の子育て世帯を支援するため、市独自の「新型コロナウイルス感染症対策特別支援金」を速やかに給付すること。
- 6. スマートシティ推進事業やスタートアップ支援事業及び企業誘致など産業振興事業を強力に推進し、魅力ある雇用の場を創出するための体制を構築すること。
- 7. 健康寿命の延伸を図るために、一人ひとりが主体的に取り組むフレイル予防や生活习惯病予防など介護予防・健康づくりを充実させること。
- 8. 今の市民も未来の市民も住みやすいまちづくりの実現に向けて、未来を担う若者達との「(仮)SDGs未来会議」を設置し、SDGs未来都市として、他の自治体や県とも連携して取り組むこと。

その他の予算要望の内容と令和3年度予算要望で実現した事項については、中面に記載しております。